

## 会議録

会議の名称	平成30年度第3回西東京市総合計画策定審議会
開催日時	平成30年8月10日（金）午前9時30分から午前10時45分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎3階庁議室
出席者	池田正幸委員、大河内一紀委員、川口幸子委員、小林正和委員、菊地原美和委員、中村桂子委員、則武智委員、安田賢憲委員、米森修一委員、和田清美委員（50音順） 事務局：飯島企画部長、古厩企画部企画政策課長、佐野企画部主幹、直井企画部主幹、神保企画政策課主査、高橋企画政策課主査、浅水企画政策課主事、水谷企画政策課主事 欠席：水谷俊博委員、山本泰嗣委員
議題	1. 後期基本計画（素案）に係るパネル展示及び説明会の実施結果について 2. 後期基本計画（素案）へのパブリックコメント等の反映結果について 3. 西東京市第2次総合計画後期基本計画 中間答申について 4. その他
会議資料の名称	資料 1 パネル展示及び説明会実施結果報告書 資料 2 後期基本計画（素案）に関するアンケート・自由意見の素案への反映結果 資料 3 パブリックコメントの結果 資料 4 西東京市議会での質疑 資料 5 パブリックコメント、議会質疑及び個別計画調整の素案への反映結果 資料 6 第2次総合計画（後期基本計画）中間答申（案） 資料 7 第2次総合計画（後期基本計画）策定スケジュール
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
<b>会議内容</b>	
<p>議題1 後期基本計画（素案）に係るパネル展示及び説明会の実施結果について 事務局より資料1、資料2、資料7に沿って説明</p> <p>○K委員： 資料1のアンケート回答者の居住地を見ると、西武池袋線北側エリアの回答者数が、他のエリアに比べて少なくなっています。市全域からより幅広く意見を聴取できた方がよいのではないのでしょうか。</p> <p>○事務局： 行政サービスにおける現行のエリア（圏域）で見ると、西武池袋線北側のエリア1に含まれるひばりが丘北、栄町、北町、下保谷については、アンケート回答者数0名の町が多いとのこと指摘かと思えます。パネル展示については、市内各エリアから幅広くご意見をいただけるよう、4会場で実施しましたが、結果的にエリア1にお住まいの方のご来場が少ない結果となりました。</p>	

○A委員：

パネル展示における来場者数及びアンケート回答者数について、どのくらいを想定していたのですか。

○事務局：

具体的な想定はありませんでしたが、開催にあたっては、4会場とも、来場者にパネル内容の説明ができる十分なスペースを設けるとともに、多くの方に来場していただけるよう、可能な限り開催時間を確保して実施することとしました。

○E委員：

アンケート回収数が70名では少ないのではないかと感じました。例えば、インターネット上で意見を聴取する仕組みがあると、より幅広く市民からの意見が聞けるのではないのでしょうか。

○F委員：

パネル展示及び説明会を、土曜日を含めて実施している点はよいのですが、開催時間が日中のみとなっています。会場となった施設を夜間に利用する住民も多いので、夜間も含めて実施するとよいのではないかと思います。

○B委員：

パネル展示及び説明会の開催について、どのような方法で周知したのでしょうか。

○事務局：

市報やホームページ、公民館等へのポスター掲示などにより周知しました。

○和田会長：

今回のパネル展示及び説明会は4日間の開催でしたが、次にこのような機会があった場合、例えば開催期間を一週間にするなど、市民の目に触れる時間をより長く設けるよう考慮していただけるとよいと思います。

○事務局：

パネルが1セットしかないことから、幅広く市民から意見を聴取する上で、各会場1日の開催となりました。一方で、これまでの説明会と異なり、今回初めてパネル展示という手法をとったことで、計画の内容等について、職員が来場者一人ひとりに対面で説明するとともに、市民の声を直接聞くことができたと考えております。

## 議題2 後期基本計画（素案）へのパブリックコメント等の反映結果について

事務局より資料3、資料4、資料5、資料6に沿って説明

○G委員：

「開かれた市政」を目指し、市民意識調査、企業団体ヒアリング、パブリックコメント、パネル展示や及び説明会等の実施によって、市は積極的に市民意見を聴取しています。そのことが、市民には知られていないように感じます。資料3では「市は、計画策

定をコンサルティング会社任せにしている」という趣旨の市民意見もありますが、その理由は、市が前面に立って市民意見の聴取をはじめ、計画策定に取り組んでいるということが、市民に伝わっていないからではないでしょうか。

○E委員：

資料5の個別計画調整により、「笑2-1 健康づくりの推進」における成果指標の「自殺率」が削除されていますが、これに代わり、今後どのような成果指標を設定されるのでしょうか。

○事務局

成果指標の「自殺率」については、「笑1-1 地域福祉の推進」に係わる個別計画の中でも検討しておりますので、その検討状況やこれまでにいただいたご意見等を踏まえて、今後精査する想定です。

○E委員：

(仮称)加速化事業グループとして、3つのグループを設定する趣旨は理解できますが、今後、どのように具体化されるのでしょうか。各グループに紐づく事業は、施策あるいは各施策の計画事業のどちらで具体化する想定でしょうか。

○事務局：

3つのグループの考え方に沿って、計画事業単位でグループ化を行うとともに、各施策の成果指標とは別に、加速化事業グループごとに指標を設定することを考えております。今後、事業を検討する中で進めていきます。

### 議題3 西東京市第2次総合計画後期基本計画 中間答申について

○H委員：

資料6の総論「8. (仮称)加速化事業グループ」の3つのグループの考え方のイメージは、これまでの議論等を踏まえ、分かりやすく整理されていると思います。

前回の審議会では、指標について様々な意見があったかと思いますが、取扱いについて何かあれば教えてください。

○事務局：

成果指標及び目標値の設定等については、今後の計画事業の検討を合わせて行うことが適当と考えており、これまで成果指標及び目標値に対していただいたご意見を整理してまいります。

○K委員：

「笑1-4 社会保障制度の運用」の現状と課題について、「生活保護受給者の就労による自立を後押しする『改正生活保護法』の施行、『生活困窮者自立支援制度』の開始等の」という表現から、「生活保護制度における自立支援の強化や生活困窮者の自立支援の強化等の」という表現に変更されている趣旨を教えてください。

○事務局：

分かりやすくするため、改正された制度名ではなく、改正の趣旨を伝える表現に修正しました。

○和田会長：

その他、委員の皆様から何かありますか。

○各委員：

(意見なし)

○和田会長：

ご意見等ないようですので、資料6の「第2次総合計画（後期基本計画）中間答申（案）」を、中間答申書として市長に提出してよろしいでしょうか。

○各委員：

(異議なし)

・和田会長から市長へ中間答申書を手交

#### 議題4 その他

事務局より資料7に沿って説明

○和田会長：

その他の事項として、事務局から何かありますか。

○事務局：

第4回審議会は、平成31年2月に開催を予定しております。正式には、後日ご連絡いたします。

○和田会長：

その他、委員の皆様から何かありますか。

○各委員：

(意見なし)

○和田会長：

それでは、これをもちまして、第3回審議会を終わらせていただきます。皆様ありがとうございました。

(閉会)